

コミネット宝木だより

地区民の熱いパワーで得た「貝がら賞」

貝がら節 総踊り

貝がら節総踊り 見事優勝！

八月一日土曜日、コミネット宝木として気高町の一大イベントである「貝がら節まつり 総踊り」に参加しました。

総勢、六十二名の参加。掛け声は「ガッツだぜく ほづぎ」とし、全員男踊りでまとめ、息を合わせました。

また、各部落名を回転させたシンボルは斬新で、参加者ももとより、観客の多くを魅了しました。

制作の、メイン部分は夏ヶ谷の松本企工さんに依頼したもののあとの細工はボランティアの皆さんの技術と善意で出来ました。大工経験者の土台づくり、電気マニアの洗濯機モーターを再利用した回転台。それをサポートする人たちが、文殊の知恵の出しあいです。審査対



象に「シンボルは貝がら節がイメージしてあるか」となっていました。宝木地区民の熱いパワーに審査員の多くが感動してくれました。また、殆どの部落より踊り子の参加があり、地区コミネットの充実が



うです。また、殆どの部落より踊り子の参加があり、地区コミネットの充実が

更に囚れることも出来ました。一時間二十分といふ時間と

はあつと経ち、踊った後の満足感と、清々しさが小雨さえ気持よく思える夜となりました。



ばんだあーい！

兵庫県朝来市与布土地区研修で得たもの

- ・会議ではなく座談会
- ・何もしないでは衰退の一路
- ・問題に突き進んでいく
- ・区長中心に合意形成
- ・自分たちに出来る事は自分たちで
- ・トップダウンではなく住民が地域起しの主役
- ・協議会で取り組めるもの、そうでないものの選択
- ・自主財源確保
- ・現状を知る 話し合う
- ・住民側が危機感
- ・問題は書面でなく言葉で
- ・行政に頼りすぎ
- ・昔に戻る

宝木地区にどのように生かしていくか。アンケート結果と伴に今後の課題です。

与布土自治協議会会長説明の様子

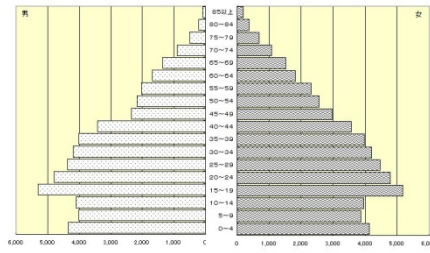


7月17日(金) 先進地視察16名参加

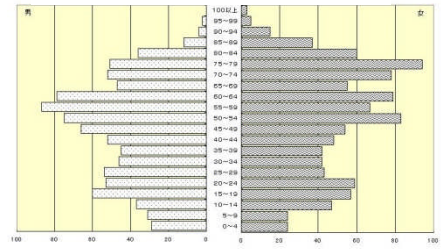
人口比較

約40年前の全国、今年の地区全体、また各集落をピラミッドで表わしたものです。形が崩れています。少子高齢化も覗えます。10年後、20年後はどうなっているのでしょうか。

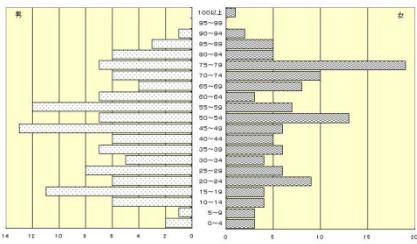
昭和43年 全国



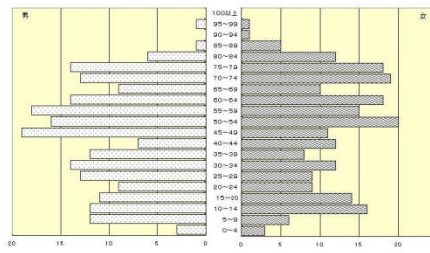
宝木地区全体



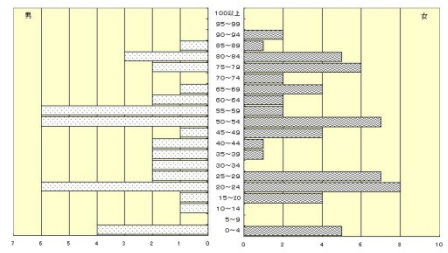
上 光



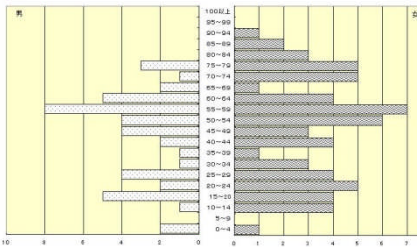
下光元 夏ヶ谷



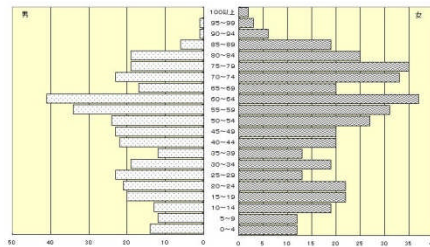
常 松



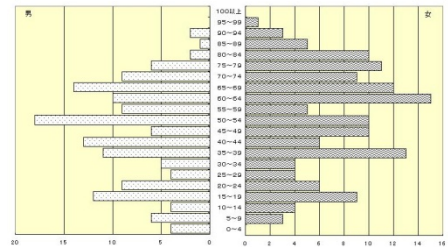
富 吉



宝 木



水尻 奥沢見



宝木っ子まつりに参加して

実行委員長 澤本英人

七月二十六日の日曜日に「宝木っ子まつり」が行われました。

「魚がたくさんいる。」「こっちは大きい魚がいる。」今年も、恒例となった網引きでは、子供たちの元気な声をたくさん聞くことができました。

今年度は、鳥取市で砂像フェスティバルが行われ大成功に終わりました。これにヒントを得て、「宝木っ子まつり」でも、網引きと一緒に砂像づくりを行うことにしました。

コミネット宝木の共

催を得て行いました。最初は、子供たちには難しいかなと思っていました。しかし、実際に作り始めると子供たちは、アンパンマンや鬼太郎の絵を見ながら想像力を働かせ少しずつ少しずつ削り、仕上げていきました。とても、根気がいる



砂像大賞 子泣きじじい



(制作者) 竹本美宇 竹本成吾 徳本蒼月 岡本留奈 淀 雄太

作業でしたがとても楽しそうに作品づくりに取り組みました。どれも、個性的ですばらしい出来栄になりました。

この後、みんなで網を引きました。あいにくの雨と波も少し高かったせいもあり、子供たちにとっても大変だったかもしれません。しかし、みんなと協力をして最後までがんばりました。大漁とまではいきませんが、子供たちにとってはとてもいい経験になったと思います。

「宝木っ子まつり」は、地域の多くの人のご協力によって成り立っています。協力してくださった方々に感謝しつつ、子供たちも、地域に根ざし、地域に貢献できる人になって欲しいという思いを強くする一日になりました。ご協力してくださった多くの方々に感謝します。